

会議議事録（要旨）

会議の名称	第4回 第2次宇多津町総合計画審議会
開催日時	令和6（2024）年1月17日（水）15:00～16:00
開催場所	宇多津町保健センター4階 大会議室
出席者氏名	川瀧委員、久保氏（小松委員の代理）、津谷委員、尾崎（亮）委員、大坂委員、水尾委員、尾藤委員、松本委員、加野委員、神出委員、水本委員、青木委員、木村委員、柴崎委員、松沢委員、矢野氏（橋本委員の代理）、真鍋委員、亀井委員
欠席者氏名	川本委員、藍川委員、住野委員、鈴池委員、木下委員、尾崎（祐）委員、前川委員、チャン ティ カム ジャン委員
事務局職員氏名	高瀬教育長、磯崎統括監、井原統括監、原岡統括監、石井統括監、吉田課長、岩瀬主任主事、木谷主任主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長挨拶 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）第3回審議会での意見の対応について （2）パブリックコメントの実施について 4 その他 5 閉会
配付資料	資料1 第3回 第2次宇多津町総合計画審議会 意見及び対応一覧 資料2-1 第2次宇多津町総合計画（案）のパブリックコメント実施要領 資料2-2 パブリックコメント 提出様式 資料3 第5回総合計画審議会に向けて 会議次第、席次表
その他	傍聴者なし 随行者1名 小松委員代理出席、橋本委員代理出席

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配付資料確認 ・出席者確認（8名欠席） ・第3回審議会以降の協議状況の説明 12月25日第4回庁内調整連絡会
加野会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・定足数の確認 18名参加 ・議事（1）第3回審議会が出た意見の対応について
事務局	資料1を説明
加野会長	何か意見はないか。
青木委員	<p>前回も地域コミュニティの方向性についてお伺いしたが、地域コミュニティについては、連絡や行事の情報がいきわたらない現状があり、今後の大きな課題となってくる。今回の能登半島の地震等をみると、地域コミュニティが改めて大切であることが分かった。災害が起こった時の地域コミュニティの方向性、（例えば）推進委員会のような形を明確に示す必要がある。この方向性はどこまで進んでいるのか。</p> <p>以前、地域コミュニティの再生ということで、地縁団体と機能団体で仕分けしながら再生するという方向性が政府で示されたかと思う。これらの方向性も含め、本町での具体的な地域コミュニティの再生についてお伺いしたい。</p>
事務局	<p>現状の宇多津町では地震等に関連する具体的な議論は進んでいないが、能登半島地震の状況をみながら、今後、どのような点が町で想定されるか。職場内では自宅からの通勤の可否、どの業務の優先順位が高いかなどを議論している。しかし、それらが地縁団体、機能団体でどのように動くかは、仕分けしていない。その中で、自治会、マンションの管理組合、地域の自主防災組織等をお互いにリンクさせて考えないといけない。</p> <p>今後、震災の状況を見て、前に向かっていかないといけないと認識しているが、現状ではまだ、ここで答える用意はできていない。この質問を受けて内部で協議し、どういう形で地域、学校等と連携していくかを考えたい。</p>
青木委員	地域コミュニティについての今後の方向性を示してほしい。
加野会長	地域コミュニティの再生・活性化はどの自治体もスローガンとして掲げているが、どう実現するかは難しい。事務局にて今後検討をお願いしたい。
真鍋委員	<p>宇多津小学校のPTA役員をしているが、自身がどこの地区に属しているのか分からない保護者がいる。小学校周辺の長縄手地区では、自治会がないため、いろいろな問題が解決できないという声を聞く。困り事等の共有ができない。自治会がないところの発足の仕方はどうするのか。また、子どもが多いが、子ども会がないところの発足の仕方についても教えてほしい。</p> <p>もう一つ、交通指導員さん等のボランティアがいるが、ボランティアのしていることを知らない人が多い。活動内容について具体的なことを知るとボランティアに関心が向くと思う。</p>

事務局	具体的ではないが、長縄手地区はどの地区に属しているかわかりにくいという声は聞く。また、長縄手地区には子ども会もない。田町地区や津の郷地区の子ども会からの勧誘があるが、自治会もないので困っていると認識している。 一方で、自治会がないので、入居している人がいるというケースも聞く。1つの方法としては、周辺含む小地域でまとまって活動するのがいいのかなと思っている。田町地区や津の郷地区等と連携して地域全体が防災組織になればと考えている。
加野会長	・議事（2）パブリックコメントの実施について
事務局	資料2-1、2-2を説明
加野会長	何か意見はないか。総合計画案は前回頂いた冊子と今日修正箇所の説明を受けたものが入ったものと考えていいか。
事務局	基本構想は第2回審議会に提出し、承認をいただいたものを、前期基本計画は第3回審議会に提出した資料に、その時にいただいた意見を修正し反映したものをホームページに掲載する予定である。
加野会長	今回の審議会での意見の反映はどうか。
事務局	今回の意見を反映するかどうかは事務局で検討をして、第5回の審議会で改めて修正版の総合計画を提示するので、そこで反映する。
加野会長	総合計画という宇多津町全体の計画について、幅広く町民の方をはじめ、職員の方、審議会の委員の方から意見を聞くという手続き等の説明を受けたが、何か意見はないか。
久保氏	パブリックコメント実施について、町民への周知はどのようにするのか。
事務局	2月の広報誌と町の各種SNSで周知を図る予定である。
加野会長	パブリックコメントの準備をよろしくお願したい。 会議次第4 その他について事務局から説明をお願いする。
事務局	資料3について事務局から説明
神出委員	（前回配布された前期基本計画書）44ページ障害者福祉について、前は「保留」となっていたが、その後の状況はどうなっているのか。また、90ページの観光振興の目標指標の数値はどうか。
事務局	障害者福祉については担当課に確認後、パブリックコメントの原稿に反映した。観光振興の目標指標についても修正し、パブリックコメントの原稿に反映した。
加野会長	審議会の委員も、パブリックコメントの意見を出してもらいたい。 他に意見はないか。
尾藤委員	ボランティア連絡協議会では年2回防災研修会を実施している。最近テレビで「対口支援」という言葉を聞いた。国、都道府県との連携のなかで、災害に迅速に対応できるもので、災害が発生した場所にはどこの自治体が行くのか、という取り決めがあるようだが、宇多津町ではどのような対応をしているのか。
事務局	「対口支援」についてはまだ勉強不足、認識不足ではある。能登半島地震では香川県広域水道企業団が支援を始めているが、なかなか被災地に入っていけない中、単独では動きにくいという状況は認識している。 本町では、能登半島地震に対する募金を実施し、香川県町村会では物資の支援を

	検討している。今後、南海トラフ地震のような大きな災害があると必要になってくると思うので、状況を踏まえて検討したい。
青木委員	岐阜県の岐南町と災害協定を結んでいるだろう。
事務局	青木委員の意見についても再度確認をして検討したい。
尾藤委員	姉妹都市を結んでいる自治体では、人的支援も考えられる。
加野会長	丸亀市は七尾市と縁があり、七尾市に職員を派遣している。南海トラフ地震の場合、香川県は津波の大きな被害を受けることはないので、四国全体に対する後方支援を香川県に置くといったことが準備されているのかなと思う。
尾藤委員	そういうことが分かれば、防災研修の時でも会員に周知ができる。南海トラフ地震の場合は、お互い支援がしにくいので、その時にどこから来てくれるのかといったことが決まっていると受け止めたが。
川瀧委員	婦人会としては社会福祉協議会を通じて能登半島地震への義援金をお渡しした。
加野会長	町内でなく、町外との連携をどうするかは重要な視点であるが、相手がある事なので、（計画書には）書きにくいと思う。
事務局	次回審議会は3月上旬を予定しており、内容的にはパブリックコメントの実施結果、前期基本計画の承認等を考えている。手元に次回審議会の日程調整について用紙をお配りしているので、1月26日金曜日までに提出いただきたい。なお、会議の開催前には事前に資料を送付する予定である。 これで審議会を終了する。
事務局	閉会

以上